

大田区自立支援協議会 こども部会議事録

文責：松本（事務局一部修正）

(1) 会議の名称	大田区自立支援協議会 こども部会（第5回）			
(2) 開催日時	平成28年9月1日（木）9：30～11：30			
(3) 開催場所	大田区役所 902 会議室			
(4) 出席した委員、事務局	委員（部会長：志村 陽子委員）			
	栈敷 洋子	加藤 治	佐藤 美香	津田 直美
	田中 義也	根本 真理子	石川 智春	宮嶋 祐紀子
	松本 幸則			
	区職員出席者 健康づくり課：小鳥係長、子育て支援課：本多係長			
	関係者 こども発達センターわかばの家：大岩施設長、障がい者総合サポートセンター：齋藤、前田			
事務局出席者 障害福祉課：齋藤				
(5) 連絡・報告事項				
<ul style="list-style-type: none"> ・全体討議会（8月19日）の報告 <li style="padding-left: 20px;">総合防災訓練：9月25日－大森東地区、10月2日－六郷地区 				
(6) 各委員からの情報提供				
(7) 議題				
「ライフステージに応じた相談支援」				
<ul style="list-style-type: none"> ・「ライフステージに応じた切れ目ない支援」の視点から4グループに分かれ討議し、まとめを発表。 <li style="padding-left: 20px;">○こどもが自己決定できる支援が必要。子ども中心とした支援を考え、更に子どもが成人となり、子どもを育てる立場になった時までを見据え、子ども中心、子育ての立場の2本立てでとらえてはどうか。 <li style="padding-left: 20px;">○欠けているもの、切れ目があると感じる事は何か。環境の変化が切れ目となっている。切れ目を繋ぐ、フォローすることが大切。相談支援が入る事で、客観的に考えられる様になったり、保護者等の負担も減ると考えられる。切れ目ない支援のためには、本人を知っている人がいるという事が大切。 <li style="padding-left: 20px;">○進学の際の申し送りの内容やつなぎ方が統一ではない。支援機関間の連携が必要。相談機関のフォローが必要。 <li style="padding-left: 20px;">○ソフト面では前後を見る視点や、繋いでいくという視点が欠けている。ハード面では人材や施設共に乏しい。人材が少なければ、スーパーバイザーの導入等で補う等既存の機能を活用する方策を考える。 <p style="margin-top: 20px;">各グループからの発表をもとに、次回の部会にて全体会での中間発表のまとめの内容について確認する。</p>				
(8) 次回日程				
平成28年10月6日（木） 9：30～11：30				
大田区役所 905 会議室				